

コロナ不況下、企業を存続させる為に 大幅受注減での利益倍増

コロナ禍による影響で、これまでわかっていても手をつけられなかった「直接部門および間接部門の生産性阻害要因」が浮かび上がっています。景気低迷が長引く傾向を示す中、今後も事業を継続させるには抜本的な改革に踏み出し、利益を出し続けられる企業経営を実践する必要があります。

生産性阻害要因を解決し、経常利益を倍増させた具体的な活動をご紹介します。

講演内容

【序章】大幅受注減で表面化した『直接・間接の生産性阻害要因』

【1章】問題先送り、活動停滞の現実を打破する『意識・行動改革』

【2章】生産性阻害要因を解消する『全員参加型改革アプローチ』

【3章】少人化により社内人財活用・利益倍増する『省力・活人化』

【4章】コロナ不況下、継続して利益を出し続ける経営者の戦略とは

内容が若干変更になる場合がございます。

- ・視聴日 10月9日(金)、10月14日(水)、10月16日(金)
- ・視聴時間 24時間(終日)
- ・受講料 無料
- ・申込方法 下記項目にご記入の上FAX送信にてお申込み下さい。
受付後に電子メールにて視聴要領を、郵送にてテキストをお届けいたします。

E-mailアドレスのご記入は忘れずをお願いいたします。



講師 相澤 淳一

株式会社テクノ経営ウェブソリューションズ
ウェブ関西カンパニー
カンパニー長

様々な業界にて、製造現場・間接部門での実践指導により、現場改善効果を経営成果に結びつけるコンサルティングを実践指導。経常利益、棚卸資産など決算書類で明確に分かる経営成果を実現します。

貴社名		TEL	-	
		FAX	-	
住所	〒 -	生産品目		事業所従業員数
所属・役職		ご芳名(フリガナ)		E-mail